

# J A長野厚生連 浅間南麓こもろ医療センター

## 1. 病院概要

- 院長 橋本 晋一
- 研修実施責任者 宮 正彦
- 病床数 総数：246床（一般：246床）
- 診療科目 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、小児科、小児科（新生児）、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、歯科口腔外科
- 研修の特徴
 

当院は小諸市をはじめ浅間南麓地域の基幹病院として、「医療は住民のもの」という標語のもと、急性期疾患や救急患者を積極的に受け入れるとともに、保健予防活動と地域医療・福祉活動にも力を注いでいます。臨床研修ではプライマリ・ケアの基本的な診察能力を身につけることを最重要目標とし、医師として不可欠な基本的な診療の技能・知識の習得を目指します。

  1. 小諸市をはじめとする浅間南麓地域の基幹病院として一次、二次救急の多くを受入れているため、救急疾患が豊富に経験できます。
  2. 初期医療から急性心筋梗塞、急性脳卒中の対応をはじめ、可能な範囲の高度医療まで経験できます。
  3. 高齢者が多い地域であり、高齢者の診療に関する知識・技術の修得だけでなく、生活環境や家庭環境などを考慮する、暮らしに密着した医療を学ぶことができます。
  4. 関連施設として診療所、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所があり、地域医療・地域包括ケアを総合的に研修できます。
  5. 患者さんの基本的な流れを把握しやすい規模の病院であり、患者さんの立場にたった医療の提供の仕方を学ぶことができます。
  6. 全診療科の医師の顔が見えるため、意思疎通が容易で、各科の医師との交流が深まります。コンサルテーションやセカンド・オピニオンを求め易く、研修内容がより厚みのあるものとなります。
- 所在地 〒384-8588 長野県小諸市相生町3-3-21

## 2. 年間計画表

(例) 1年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 (24週)						外科 (8週)		小児 (4週)	救急(6週)	必修科または選択科 (10週)	

(例) 2年目を本院にて研修する場合

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	地域 (4週)	精神 (4週)	産婦 (4週)	救急 (6週)	必修科または選択科 (34週)							

※ たすきがけ研修医については、信州大学の臨床研修の基本方針に従って本院での研修計画を立案します。

## 3. 必修科・選択科

内科	1年目に本院にて24週以上の研修を必修とし、総合診療・循環器内科・脳神経内科をローテートする。24週を連続して研修する必要はない。 2年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
外科	1年目に本院にて8週以上の研修を必修とする。 2年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。

小児科	1年目に本院にて4週以上の研修を必修とする。 2年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
産婦人科	2年目に本院にて4週以上の研修を必修とする。 1年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
精神科	2年目に小諸高原病院にて4週以上の研修を必修とする。 1年目で研修を希望する場合は、必修科または選択科の期間にて研修を行う。
救急研修	本院の整形外科および脳神経外科にて計6週の研修と、月2～4回の当直を必修とする。
地域医療 研修	2年目に4週以上、附属美里診療所または東御市民病院の研修を必修とする。
一般外来 研修	内科・小児科・地域医療研修にて並行研修を必修とする。
麻酔科	本院での麻酔科研修の受け入れ不可。 信州大学医学部医学教育研修センターと相談しながらスケジュールを調整します。
選択科	内科（総合診療・循環器内科・脳神経内科）、外科、小児科、麻酔科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、内視鏡科、放射線科、病理診断科、精神科、地域医療  研修病院・診療所：本院、附属美里診療所、東御市民病院、小諸高原病院

#### 4. 処遇

身分	正職員
勤務時間	就業時間：8時30分～17時00分（7時間30分勤務） 当直研修あり 休日：土曜日、日曜日、祝日、メーデー（5月1日）、年末年始（5日）、年次有給休暇（1年次10日・2年次11日）
給与	月給制：長野県厚生連規程および当院内規により支給 支給額：1年次 約5,700,000円、2年次 約8,000,000万円（諸手当・賞与含む/年） 諸手当：通勤手当、住宅手当、扶養手当、宿日直手当、超過勤務手当、研修奨励手当（3万円/月） 退職金：なし その他：ICLS講習会受講料補助、緩和ケア研修会受講料補助
社会保険	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険
健康管理	健康診断：年1回 その他（インフルエンザ予防接種）
医師賠償 責任保険	病院が加入：している（院外研修中は補償範囲外） 個人加入：任意
外部の 研修活動	学会、研究会等への参加：可 学会、研究会等への参加費用支給の有無：有（臨床研修委員会が承認したものに限る）
宿舎	戸数：職員マンション（4階建て24戸） 家賃：家賃・光熱費無料 個人でアパート契約する場合は住宅手当（上限5万円/月）支給
その他	院内保育所あり、移転料（引越し代）支給